5　**第五段**　転

海岸沿いの桜並木
花びらがひっきりなしに散る

わたし・エノモトさん

弱々しい声
まなざしが落ち着かない
甘い声
ぼんやりとした口調
＝わたしたちは離れられない
←
エノモトさんの笑い
ついに人魚を海に放り投げた

人魚

わたしだけを見ている
「離さない」

わたし

うわあ（恐怖）
耳をふさぎ、砂に顔をうずめた

人魚はいつの間にか去っていた
降りそそぐ桜の花びらを眺める